

第3学年 総合的な学習 学習指導案

児童	男子16名	女子18名	計34名
指導者	高橋 恵		
場所	3年教室		

1 単元名 地域の人とのふれあい ~めざせ名人~

2 単元について

本単元は、地域の人々に昔の遊び道具の作り方や遊び方を教えていただく活動を通して、地域の人々の技や工夫、心の温かさに気づくこと、そして学んだことを自分の生活の中に取り入れていこうとする態度を育てることをねらいとして設定した。

子ども達は、国語「調べたことを発表しよう」で昔の暮らしを調べ、中でも昔の遊びに興味を持った様子である。地域の人々に進んで教えていただいたり、根気強く作業する姿を見せていただいたりすることを通して、人とかかわることの喜びを感じとらせるとともに根気強さを育てていきたい。

子ども達は、これまでの学習でグループのめあてや自分のめあてをもって活動することができるようになってきている。「ふくしの町石鳥谷(1)~お年よりとの交流」では、養護老人ホーム宝寿荘のお年よりと進んで交流し、お年よりの温かさを感じとることができた。

子ども達の学校生活を見ると、最初は意欲満々で取り組むのだが、少し難しいことにぶつかると諦めてしまう傾向がある。地域の人々とふれあう中で、根気強さを育てていきたい。

指導にあたっては、まず自分が取り組みたい昔の遊びについて作り方や遊び方を身近な人から聞き取り調査する。それをもとに自分なりにトライアル(やってみる)に取り組む中で、課題意識をもつことができるようにしたい。次に、地域の名人的の方に教えていただいたり、自分の活動をふり返って新たなめあてを考えたりする。その中で、名人の方の技や工夫、心の温かさに気づかせるとともに根気強さを育てていきたい。そして、活動の様子を発表し合ってお互いのよさを認め合わせるとともに、発表会に名人の方を招待して子ども達に成就感をもたせていきたい。また、できるようになったことのいかし方を考え、地域の人々と積極的にかかわっていこうとする態度を育てていきたい。

3 単元の目標

(1)【課題設定の能力】

- ・取り組みたいものを決め、トライアル(やってみる)や活動をふり返って課題をもつことができる。
- ・地域の人とのつながりやできるようになったことのいかし方を考えることができる。

(2)【課題解決の能力】

- ・安全に気をつけ、自分なりに取り組もうとすることができる。
- ・名人の方に教えていただいたり説明書を読んだりして活動することができる。

(3)【情報活用の能力】

- ・活動の様子をデジタルカメラでとることができる。
- ・自分が取り組みたいものの作り方や材料等を身近な人に聞いて調べることができる。

(4)【表現力】

- ・声の大きさや速さに気をつけて発表したり、友達のよさを見つけながら聞いたりすることができる。
- ・自分の思いが伝わるような手紙や招待状を書くことができる。

4 単元の主な評価規準

平成16年度生活科・総合的な学習年間計画 3年 P4参照

5 指導計画(27時間)

平成16年度生活科・総合的な学習年間計画 3年 P4～5参照
本時 12/27

6 本時の指導

(1) 目標【課題設定の能力】

- ・前時の活動をふり返ってお互いによさを認め合い、次の自分のめあてを考えることができる。

(2) 研究主題とのかかわり

課題設定段階

- ・前時の活動をふり返ることができるように、活動の様子を写真で示して名人とのふれあいを思い出させたい。

ふり返りの段階

- ・次時の活動への意欲をもつことができるように、次の自分のめあてを発表させてそのよさを認めたり励ましたりしたい。
- ・自分や友達のがんばりに気づくことができるように、ふり返しカードで自己評価させるとともに発表させてお互いに認め合わせたい。

(3) 展開

段階	学習内容と活動	教師の支援(・)評価()	資料等
い だ く 7 分	1 本時の活動の見通しをもつ。 2 本時の課題をつかむ。 きのうの活動をふり返し、次の自分のめあてを考えよう。 3 前時の活動の様子を思い出す。	・本時は前時の活動をふり返し、次時の活動で取り組んでみたいことを考える時間であることを知らせ、見通しと意欲をもたせる。 ・前時の活動の様子を写真で示して思い出させる。	写真
活 動 す る	4 前時の活動をふり返し、発表する。 ・自分のめあてのふり返しとうれしかったことを書く。 ・グループ内で発表し合う。 ・学級全体に発表する。	・うれしかったことを書かせ、作る喜びと名人の方や友達に認められたうれしさを感じ取らせたい。 ・グループや学級全体で発表し合っ て、お互いにがんばりを認め合わせる。	学習シート

28分	<p>5 次時の活動の自分のめあてを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工夫してみたいことや続けてがんばりたいことを簡単に話し合う。 ・次の自分のめあてを学習シートに書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・次時は製作活動の最後の時間であることを知らせ、どのようなところを工夫したりがんばったりして、どんな遊び道具を作りたいのか考えさせる。 次の自分のめあてを考えることができる。 <p>[学習シート]</p>	
まとめ 10分	<p>6 本時の学習をふり返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次の自分のめあてを発表する。 ・ふり返りカードに自己評価を書く。 <p>7 次時の活動を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔の遊び道具を作り上げて、みんなで遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・めあてを発表させて、よさを認めたり励ましたりして次時の活動への意欲を持たせる。 ・自分や友達のがんばりについて発表させて、お互いに認め合わせる。 	ふり返りカード

(4) 評価

評価規準 【課題設定の能力】 [方法]	具体の評価規準	支援
	十分満足	
<ul style="list-style-type: none"> ・次の自分のめあてを考えることができる。 <p>[学習シート]</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・どのようなところを工夫したりがんばったりして、どんな遊び道具を作りたいかに加え、そのための方法も考え、めあてにすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別指導により、自分の思いをはっきりさせたり同じ活動をしている友達の考えを参考にさせたりして、次の自分のめあてを考えさせる。

資料

(学習シート)

きらめきタイム「めざせ名人」			
3年(名前)	
めあて2		めあて3	
そのために		そのために	
ひょうか	そのわけは、	ひょうか	そのわけは、
	からです。		からです。
名人の先生や友だちの言葉で、うれしかったことを書き ましょう。		名人の先生や友だちの言葉で、うれしかったことを書 きましょう。	

きらめきタイム「めざせ名人」				
ふり返しカード				
月	日			
(名前)				
1 きょうの活動をふり返し、発表することができましたか。				
2 次の自分のめあてを考えることができましたか。				
3 自分ががんばったことや友だちのよかったところを書きましょう。				
<table border="1"> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> </table>				

生活科・総合的な学習 年間計画

3年

[地域の人とのふれあい]

「めざせ名人」 (27時間)

単元の評価規準

	評価規準	評価の方法
課題設定の能力 (設)	取り組みたいことを決め、トライアルや活動をふり返って。課題をもつことができる。 地域の人とのつながりやできるようになったことの生かし方を考えることができる。	・ワークシート ・手紙
課題解決の能力 (解)	安全に気をつけ、自分なりに取り組もうとすることができる。 名人の方に教えていただきながら活動できる。 説明書を読みながら作ることができる。	・観察 ・ふり返りカード
情報活用能力 (情)	活動の様子をデジタルカメラでとることができる。 自分が取り組みたいものづくりかたや材料等を身近な人に聞いて調べることができる。	・写真
表現力 (表)	ワークシートを参考にしながら、声の大きさや早さに気をつけて発表することができる。 発表を聞いて、友達の発表のよさを見つけることができる。 自分の思いが伝わるような手紙や招待状を書くことができる。	・観察 ・ふり返りカード ・手紙や招待状 ・ワークシート

月	段階	時	学 習 内 容	具体の評価規準		支 援	備 考
				規準と の対応	十分満足		
9	課 出題 会に う	1	名人に教えてもらいたいものを決め、アンケートに答える。	設	・関心があったり新しく挑戦したかったりするものを選び、それについて自分の実態や希望を詳しく書くことができる。	・教師が提示したものの中から関心があり、挑戦してみたいものを選び、実態も正直に書くようにさせる。	* トライアルのビデオ撮影練習

		2 3	名人に教えてもらうものに挑戦してみる(トライアル) *リーダー決定 作り方や材料等を調べる計画を立てる。	解 情	<ul style="list-style-type: none"> ・安全に気をつけ、進んで自分なりに取り組むことができる。 ・自分の取り組みたいものについて、身近な人に聞き取り調査をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・初めて挑戦する内容が多いので、安全面に関する注意を徹底する。 ・うまくいかない点を名人に教えていただく課題にするという考え方で取り組ませる。 	
	課 い 題 だ を く	4	課題意識をもちながら、名人にお願いの手紙を書く。	情 設	<ul style="list-style-type: none"> ・手紙の基本形を参考にして、自分の工夫も付け加えながら、教えていただきたいことをお願いする手紙を書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本となるお願いの手紙の型を示したり、トライアルでできなかった内容を思い出したりしながら書かせる。 	
		5 6	開会行事やグループでの進め方を練習する。	表	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを参考にしながら、グループで協力してはっきり大きな声で発表することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・勝手なことをしてしまう児童には、何の練習をしているか確認する。 ・リーダーを中心にして話し合いを進める。 	
7	活 動 ・ 体 験 す る	7~8 10~11 13~15	名人に教えていただきながら活動する。 2時間×2回 3時間×1回	解 解 情	<p>1~3回共通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名人が教えてくださることをよく見聞きしたり、説明書をよく読んだりしながら活動することができる。 ・活動の様子がわかるようにデジタルカメラでとることができる。 	<p>1~3回共通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞き逃したことは、もう一度お願いして説明していただくようにさせる。 ・デジタルカメラの操作については、情報活用能力をつける時間に指導しておく。 	
		9 12	今までの活動をふり返り、新たな課題を考える。	設	<ul style="list-style-type: none"> ・活動をふり返り、新たな課題をもつことができる。 		

	16	お礼の手紙を書く。	表	<ul style="list-style-type: none"> ・教えていただいて分かったことやお礼の気持ちを詳しく手紙に書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本となる手紙の型を示し、今までのふり返しシート等を参考にしながら書かせる。 	
	17 18 19 20 21	発表会の準備をする。 招待状を書く。	表 表	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを参考にして、声の大きさや速さ、動作などを工夫しながら発表会の練習をすることができる。 ・名人に発表会の招待状を書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・リーダーを中心にして、はっきり、ゆっくり話す練習をさせる。 ・招待状に必要な事柄を考えさせる。 	
	22 23	中間発表会をする。	表 表	<ul style="list-style-type: none"> ・練習してきたことをグループで協力して発表できる。 ・グループごとの発表のよさと改善点を見つけることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・うまくいかない点は、グループで助け合って発表させる。 ・よい点を学び合い、さらに改善点も出し合い、次につなげる。 	
	24	発表会のしあげの練習をする。	表	<ul style="list-style-type: none"> ・改善点を取り入れ、さらに工夫しながら、発表会のしあげの練習ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中間発表会で出された改善点を思い出させ、どう直したらよいか考えさせる。 	
ま と め る	25 26	発表会をする	表 表	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを参考にしながら。声の大きさや速さに気をつけて発表することができる。 ・発表を聞いて、友達の発表のよさを見つけることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手に伝えることを意識して発表させる。 ・中間発表会や自分たちの発表を比べながら聞かせ、よさを認め合わせる。 	

広 げ る	27	地域の人とのつながりや、 これからの生活の中での生 かし方を考える。	設	・活動をふり返り、地域の人との つながりやできるようになった ことの生かし方を考えることが できる。	・名人に教えていただいたことやうれ しかったことを思い出させて考え させる。	
-------------	----	--	---	---	--	--